



大寒の候、平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、11月末～12月にかけて、第2回学校アンケートを実施いたしました。アンケート内容については、花山中学校ブロック3校（花山中・陵ヶ岡小・鏡山小）で統一した項目（初めの6つ）と本校の学校教育目標や目指す子ども像に即して学習面や生活面を振り返る項目を設定しております。学校・児童・家庭が協力し合い、よりよい子どもたちの学びや成長につなげていけるよう年に2回実施しております。アンケートの結果から、現状や対策をお伝えし、今後の鏡山小学校の学校教育に活かしていきたいと考えております。お忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

<学校教育目標> 自ら学び 心豊かに 未来を拓く子

目指す子ども像「自分も友達も大切にする子」「成長しようとする子」

<自ら学び> 【主体的に取り組む力】知ること、気づくこと、発見することの喜びを感じる子

【学びに向かう力】チャレンジ精神をもって、いきいきと粘り強く取り組む子

<心豊かに> 【自らの心を育てる力】共感する心・感動する心奮い起こす心をもつ子

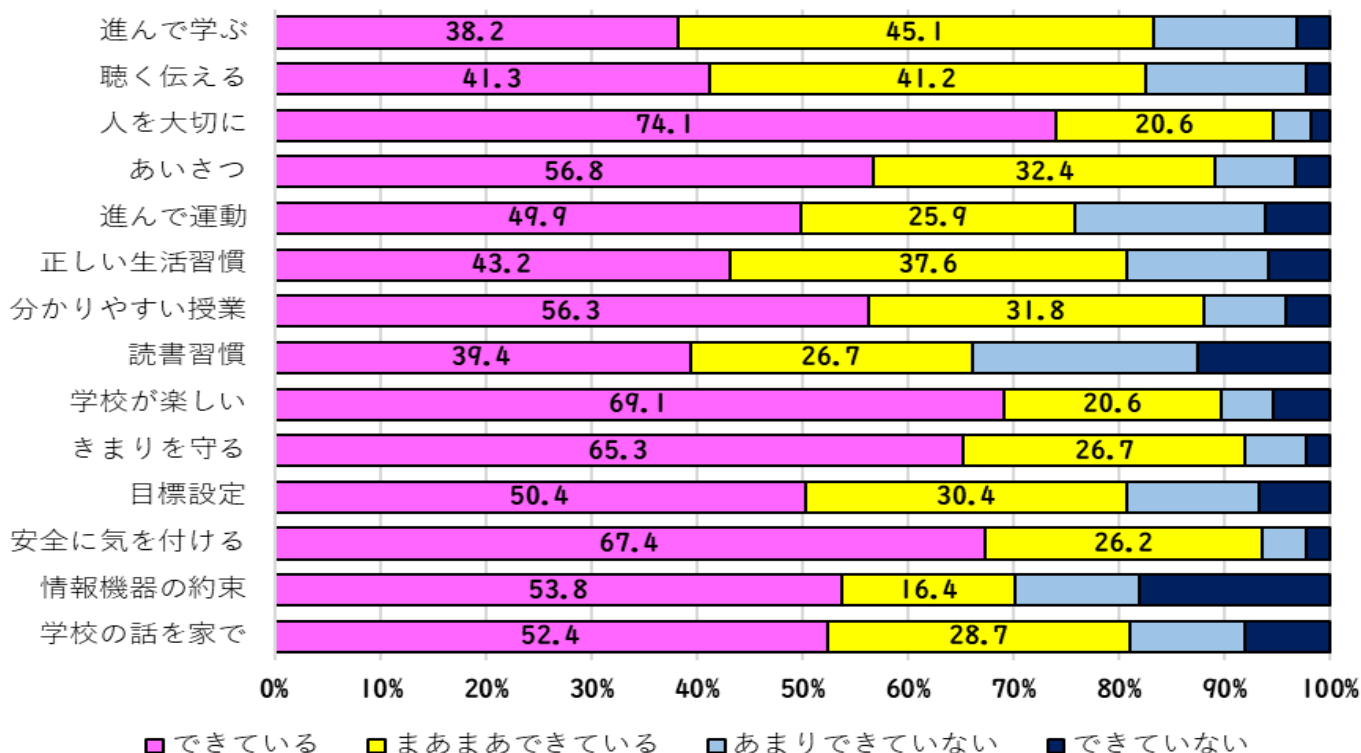
【自他を大切にし自ら律する力】相手の立場を理解し、自分と人とのつながりの中で、時と場に応じた正しい判断と行動ができる子

<未来を拓く> 【実践的判断力】学びを活かし、行動する子

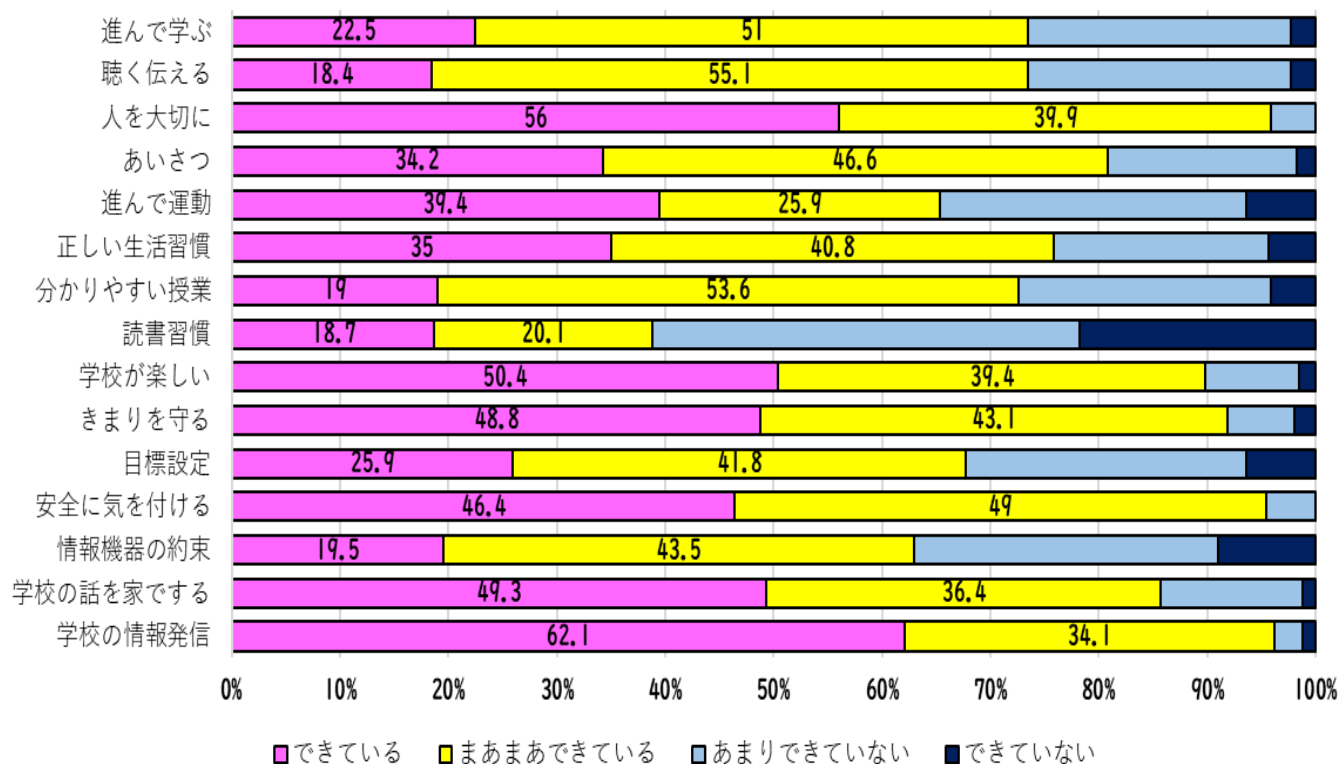
【自己実現を果たす力】未来を創造し、たくましく生きる子

表の見方：各項目左はし口から「できている」「だいたいできている」「あまりできていない」「できていない」（数字は％）。「できている」「だいたいできている」を合わせて「できている」として結果をみていきます。

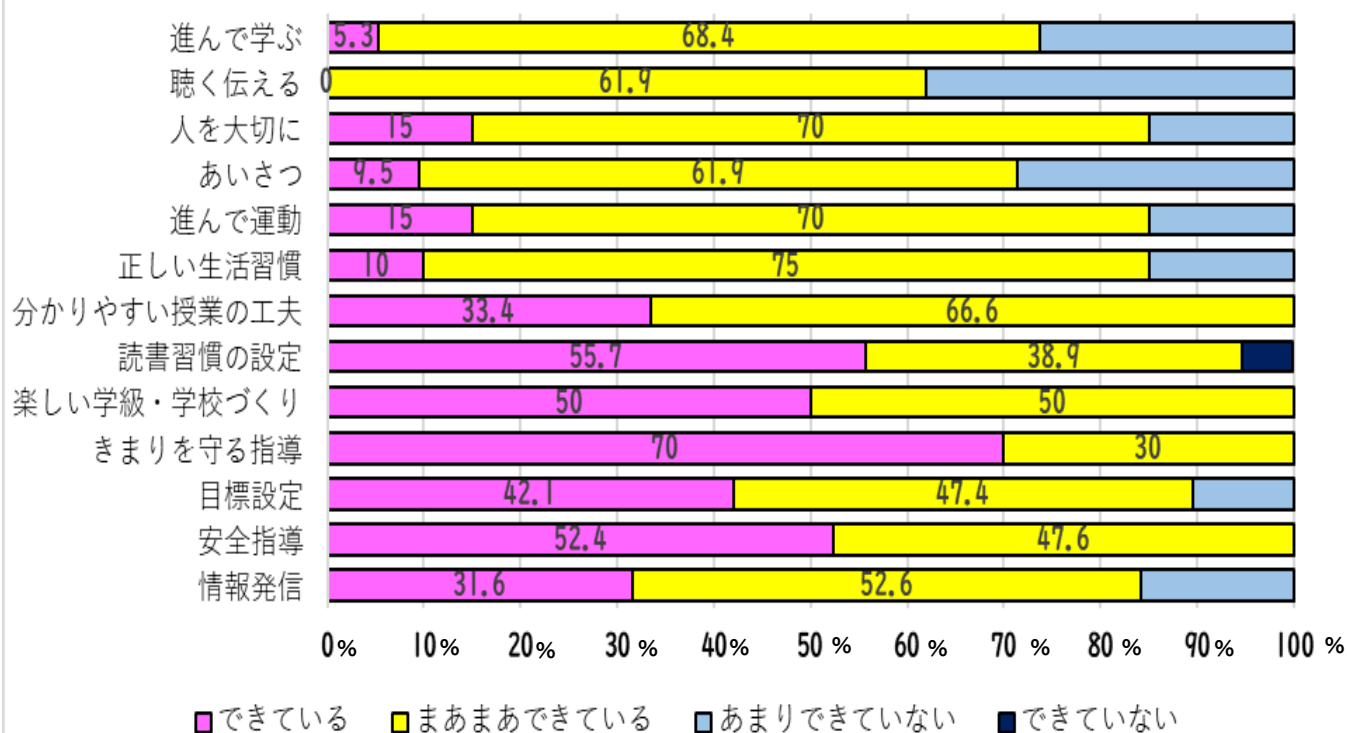
児童（第2回）



保護者（第2回）



教職員（第2回）



<児童・保護者・教職員のアンケートの結果から>

3者とも「きまりを守る」「安全に過ごす」の実現度が90%を超える高い結果になっています。本校児童の強みや良さと考えられます。一方で読書習慣については、児童・保護者ともに低い結果となっています。例年の課題ではありますが、読書は学習や心を育むことにつながる大事な項目と考えています。学校でも読書時間の確保だけでなく、読書を楽しめる企画を委員会や図書館司書と協力して取り組んでいきます。絵本からでも構いません。ご家庭でも読書の機会をもってみてはいかがでしょうか。

情報機器の約束についても例年低くなっています。最近、SNS やスマホ・オンラインゲームでのトラブルも増えています。必ずご家庭で約束(時間・相手など)を決めていただきたいと思います。トラブルになってからではとりかえしがつきません。

今回は、第1回の学校アンケートから比較し、5%以上の差があったものを取り上げて、結果をみていきます。○←5%以上上がった △←5%以上下がった ☆今後の取組

△「進んで運動」の項目

保護者(できている) 第1回72.2%→第2回65.3% 6.9%↓

児童(できている) 第1回80.2%→第2回75.8% 4.4%↓

一方、教職員は10%以上上がっていました。

☆冬は運動不足になりがちです。体育だけでなく、委員会の企画で大縄大会も実施予定です。ご家庭でも縄跳びや休日の外遊び等、少しでも外に出る機会を作ってもらえたらと思います。

○「きまりを守る」「安全に気を付ける」の項目

児童(できている) 5%とはいきませんが微増

保護者(できている)「安全に気を付ける」で微増

教職員(できている)100%のまま継続

☆きまりを守ったり安全に気を付けたりすることは、児童がいつでもどこでも安心して安全に過ごせるために重要なことです。引き続き学校でも安全指導を徹底していきます。ご家庭でも登下校や放課後・休日の過ごし方等子どもたちと確認をお願いいたします。

※アンケート回答率について

最終的なアンケートの回答率は80%でした。ご協力いただきありがとうございました。アンケートの主旨をご理解いただき、来年度もご協力をお願いいたします。

よろしくお願いします



本校の学校運営協議会理事会に学校関係者評価としてご意見をうかがいました。

<学校運営協議会理事会とは>

「学校教育目標」や「目指す子ども像」等をはじめとする「学校運営の基本方針」を承認するとともに、学校や子どもたちが抱える課題を解決するための方策を議論する組織です。

<今回の学校アンケートについて>

・現代の子どもは読書について「タイムパフォーマンス」が悪いととらえているのではないか。読書離れは仕方ないのではないか。

・大人も本を読む機会が少ないことも要因では。家庭で子どもと一緒に本を読むことで、子どもの興味も高められるのではないか。

・携帯、スマホでの動画コンテンツについて。子どもにとって有害な情報ももたらすこともよくわかるが、有益な情報を得られるコンテンツも多い。取捨選択して授業などでも有効活用していくのも一つではないか。

・アンケート結果について、子ども・保護者・教職員の意識の違いが気になる。保護者・子ども・教職員の求める姿がかけ離れすぎていることもあるのではないか。

・地域の公園などでの遊び方について、よくない話も聞く（ごみの放置、ボール遊びなど）。子どもたち自身が自分たちでルールを作り、自分事としてとらえられるようにしている事例も聞く。ぜひそのような取組も検討されてはどうか。

・公園に出かけるときは、ゴミ袋を持参して、自分の出したごみは自分で持ち帰るよう家庭でも伝えてほしい。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

